

第4段階 ガリラヤの大宣教

E. 十二使徒の任命と「山上の教え」

3. 山上の教え、第2部：イエスは愛を通して律法を成就するために来られた

デイリージーザスニュース #069

基本テキスト: MT 5.13-20 (並行テキスト: なし)

13 あなたがたは地の塩です。しかし、塩が塩気を失ったら、何によって塩気が取り戻されるでしょう。それはもはや何の役にも立たず、ただ外に捨てられ、足に踏みつけられるだけです。

14 あなたがたは世の光です。山の上に建てられた町は隠れることができません。 15 また、ともしびをともしておいて、それを鉢の下に置く人はいません。それを燭台の上に置くと、家の中にいるすべての人を照らすのです。 16 同じように、私はあなたにも命じます。あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

17 」わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだと思ってはなりません。廃止するためではなく、成就するために来たのです。

18 よく聞きなさい。天地が消えうせない限り、律法の中の一文字、一画さえも消えることはなく、すべてが成就するのです。

19 だから、これらの戒めのうち最も小さいものの一つでも破り、またそう教える者は、天の御国で最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、これらの戒めを守り行ない、またそう教える者は、天の御国で偉大な者と呼ばれるであろう。

20 あなたがたに言いますが、もしあなたがたの義がパリサイ人や律法学者たちの義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の御国に入れません。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルーク = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**イエスの言葉は赤の斜体で表記されています**。旧約聖書からの引用は大文字で表記されています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ガリラヤの山で
タイムライン	西暦31年5月 (第16月)
イエスの生涯	第4段階: ガリラヤの大宣教

第4段階 ガリラヤの大宣教

	E. 十二使徒の任命と「山上の教え」
タイトル	3. 山上の教え、第2部：イエスは愛を通して律法を成就するために来られた

コメント：

17節でイエスは「山上の教え」の命題、つまり中心となる原則を述べました。イエスは、弟子たち一人ひとりの中に自分自身の正義を確立することによって「**律法と預言者を成就**」するために来られました。その正義は、神の完全な愛に根ざし、その愛に基礎を置いているため、単に律法を外面的に守るという以上のものでした（5.43-48）。

神の王国とは、三位一体の各位格と、イエスを信じてその愛の支配下に入るすべての人々との間で絶え間なく交わされる、純粹で無条件の愛の交わりです。神の愛は純粹な正義を生み出します。なぜなら、愛は最善のものだけを求め、与えるからです。それは、あらゆる状況において、関係者全員にとって最も「正しい」ことです。

神の義が神の愛の善良さに根ざしているのと同じように、神の愛は弟子たちの中に神の義を創り出し、旧約と新約のすべての要求を「満たす」のです。愛と義の関係についてもう少し考えてみましょう。今日の言葉を語ったとき、イエスの心にあったのはまさにこれです。

律法のあらゆる命令は愛の表現であり、神を愛すること、あるいは現実の生活で他人を愛することの意味を実際に適用したものです。もし人々が、正義とは単に 600 以上の規則のリストに従うことだと考えるなら（旧約律法には 600 以上の命令がありました）、彼らの「正義」は規則に記述されている範囲にしか及ばないでしょう。人は天使のように行動して特定の命令すべてに従うことができますが、特定の 600 以外の選択肢を持つと、完全に利己的で罪深い方法で行動し、それでも規則に関する「正義」を維持することができません。それは、神が律法を与えたときに求めていたものではありません。

実際、律法の主な目的は、私たちが心から律法を守れないことを人々に示すことでした。私たちは律法の文言には従うかもしれませんが、私たちの態度や性質は自己中心的で罪深いままです。パリサイ人は、この種の正義の失敗の代表的な例です。彼らは人間が作った規則に従いましたが、彼らの態度は悪魔自身と同じくらい神の愛からは程遠いものでした。

律法は、神がどれほど偉大であるか、そして私たちがどれほど罪深く、道徳的に破綻しているかを、律法に従おうとするすべての人に確信させるために神から与えられたものです。律法に従おうとして失敗した場合、イエスが語ったように、心の貧しさ、悲しみ、真の正義への飢え渇き、そして柔和さの追求が生じるはずです。律法に対するいわゆる「従順」が、私たちがどれほど成功しているかという自信を生み出すのであれば、私たちはまったく的外れです。これが、イエスが周囲のユダヤ人社会で見た最大の問題でした。

律法の文字に対する外面的な服従が、正義の基準としての神の愛の心の態度に取って代わったのです。ですから、この教えの中でイエスは、律法が実際には神と人々に対する内なる愛の態度を要求していることを、

第4段階 ガリラヤの大宣教

次々と例を挙げて示しました。それはイエスだけが持ち、イエスを信じる人々に賜物として与えた正義でした。

イエスが神の無条件の愛で私たちを「満たし」（または「満たし」）、そして私たちの心の中に住んで、その愛を私たちの態度や行動に力づけると、根本的に「新しい」ことが起こります。イエスは私たちを、私たちの存在の奥底から、イエスに似た者に変えてくださいます。それが起こると、私たちは、特定の規則に強制されているからではなく、愛ある行為であるがゆえに正しいことをしようとします。イエスと同様、私たちの行動は、決して終わることのない愛に動かされているため、自然に規則の要求をはるかに超えるものになります。

ここに例があります。律法主義者は、什一献金の 10 パーセントの要件に達すると、金銭的な寄付をやめます。イエスのような愛と寄付の心を持つ人は、神に祝福されて、託されたものの 20、40、60、90、あるいは 100 パーセントを寄付すると、喜びに燃えます。パリサイ人なら決してそんなことはしません。律法には什一献金以上の寄付をせよという命令はありません。ですから、律法主義者は 10 パーセント以上を寄付することはありません。一方、愛と真の心の正義は、寄付する額に制限がありません。

それはイエスが私たちに与えるために来られた愛であり、イエスとの交わりの中で与えることを教えるために来られた愛です。この愛は三位一体における正義の基盤であるのと同じように、私たちがイエスからこの愛を受け取り、常にそれを自分の家とするとき、私たちの中に真に正しく善いものを生み出します。

無条件の愛によって生み出される正義は、すべての弟子に対するイエスの目標であるため、イエスはまた、根底から不正義に満ちた世界において、私たちに二重の役割を果たすことを期待しました。それは、（ 1 ）塩のように世界を守ること、そして（ 1 ）光のように神の愛で世界を照らすことです。

私たちは、宣教で彼らに仕えることによって、つまり、彼らがそれを受け取るかどうかにかかわらず、彼らの必要を満たす行為で愛を表現することによって、世の人々を守るのです。イエスは、後の教えの中で、無条件の愛が人々と関係を守る方法について、いくつかの例を挙げておられます。また、行為で表現された愛は、社会が「正しい」と言うものよりも神の正義が優れていることを示しています。イエスは、絶えず利己心で動かされる世界に、より良い愛の道を示すよう弟子たちに期待されました。これが証しです。神の愛の無条件の性質によって世と異なるということは、イエスがしたように、私たちが絶えず宣教し、周りの人々に証しするべきであることを意味します。

応用：

イエスは、父がまず自分を愛したように、他の人々を愛することによって、自らの人生において律法を完全に果たしました。それはそれほど単純で、革命的なことでした。

イエスは、私たちに代わって罰（死刑）を負った神の子羊として、私たちと引き換えに自らの命を捧げることで、律法に従わないという呪いから私たちを解放してくださいました。私たちがイエスを信じるなら、イエスは私たちのすべての罪を赦し、忘れてくださり、三位一体の神の前に永遠の立場として、イエスの完全な正義を与えてくださいます。

第4段階 ガリラヤの大宣教

そして、神は私たちに御霊を与えて私たちの心の中に住ませ、神がまず私たちを愛してくださったように、他の人を愛するようにと教えてくださるのです。それがこの世で唯一の真の正義です。なぜなら、すべての人は自分自身ではすでに完全な正義の基準を満たすことができていないからです。

「律法と預言者を完璧に成就」された方法を考えると、私たちも同じように、自分たちの「正しい」行いのささやかな試みにおいて、イエスの愛にどれほど遠く及ばなかったかに気づくはずです。霊の貧しさ、嘆き、そして私たちに欠けているものに対する激しい飢えと渇きこそが、イエスの義を知るための唯一の適切な反応なのです。

山上の教えの残りの部分を読み進むことで、私たちは謙虚になり、打ち碎かれるはずです。私たちがどれほど及ばないのか、絶望に満たされるはずです。これがポイントです！神は完全な愛を求めておられます。そのような方は神だけです。その事実は、私たちを決して失望させることのない希望の根拠です。

イエスは、法律、社会、道徳的善良さ、心の正義のあらゆる要求を満たしています。イエスは、私たちがイエスに身を委ねる力を与え、イエスが私たちの中で、そして私たちを通して真の正義をもって生きることができる信じ、信仰によってイエスに従うよう私たちに呼びかけています。

あなたは、イエスがあなたの中で、あなたのために、そしてあなたを通して真の正義を成就する方であることを完全に信頼していますか？

今日、あなたの周りの人々に神の愛を伝えることによって、あなたはどのように「塩」になることができますか？

主イエスの偉大さと栄光を証しすることによって、あなたはどのように「光」となることができるでしょうか。